

新学期・操行ゼロ (1933)

ZERO DE CONDUITE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 45分
初公開日 1976/08/14
公開情報 フランス映画社
リバイバル 2018/12/29 [アイ・ヴィー・シー]

【キャッチコピー】

無邪気なアナーキズムが生んだ 小さな革命のメロディー！
天才ジャン・ヴィゴが、鋭い批判の矢を放つ永遠の自由への讃歌！

【解説】

驚異的なJ・ヴィゴの監督三作目の中篇は、そのスキャンダラスさにより、永いこと（45年11月まで）封印を余儀なくされた不幸な映画である。観る者を雲の高みにまで煽り飛ばす、この作品の力を恐れた連中の気持ちも分からないではない。もちろん今観ても色あせぬアナーキズムの謳歌に鼓舞された映画人は多く、「大人は判ってくれない」も「わんぱく戦争」（特に具体的な関連が見られる）も、本作の影響下にある。寄宿学校（それもカソリック）の生徒の教師や神父という権威に対する抵抗が単に暴力的反乱に留まらず、裸になり、枕の羽根を散らして踊り騒ぐ自由のパフォーマンスとなるのが素晴らしい。大林映画の少年少女にほんわかしてるだけじゃダメ。制服は脱ぎ捨てる為にあるのだと知るべし！

【クレジット】

監督	ジャン・ヴィゴ	Jean Vigo
脚本	ジャン・ヴィゴ	Jean Vigo
撮影	ボリス・カウフマン	Boris Kaufman
音楽	モーリス・ジョーベール	Maurice Jaubert
出演	ルイ・ルフェーブル ジルベール・プリュション ジャン・ダステ	Jean Daste
	ジェラルド・ド・ベダリウ	